

# 保健だより

奈良中学校 保健室 : R7. 3. 6

< 学校教育目標:「世界を小とせよ」奈良中生

知性をみがく生徒 愛情深き生徒 体を鍛える生徒 >



## 3学年・性教育講演会「思春期の生と性」

3月4日(月)に3学年を対象とした性教育講演会を行いました。講師は深谷赤十字病院の丸岡希美子先生です。丸岡先生は看護師・助産師として、産婦人科、小児科等での勤務を経て、現在は深谷赤十字病院の医療安全推進室で医療事故のご対応をされています。これから、大人への第一歩を踏み出そうとしている、3年生にとって大切なお話をさせていただきました。



講演会でうかがったお話のポイントをまとめてみました。

「二次性徴」を迎え、男子も女子も身体が変わってきます。思春期のこの時期は、ホルモンが1番分泌される時期です。自分の身体が変化し、自分自身がそれについていけない、なんてこともあります。そして、男子と女子では性に関する考え方の違いが生じます。もちろん個人差もありますが、男子→性欲や性行動への興味が強まる。女子→性欲は低く、相手のそばにいと安心する(精神的な安心感)といった違いがあります。

「二次性徴」を迎えると、妊娠をすることができる・させることができる身体となり、「望まない妊娠」や「性感染症」のリスクが伴います。中学生での妊娠は、身体が未熟であり、心臓等の身体への負担が大きいため非常に危険です。そして「産む」という選択をすると、あきらめなければいけないこともできます。自分も相手も傷つけないためには、低年齢での「性行為をしない」ことがあげられます。しかし、この先恋人ができたとき、結婚をしたとき、いずれ直面する日がくるかもしれません。皆さんの頭の片隅に置いてほしいのは、「避妊具」「ピル(避妊薬)」があることです。そして本当に困ったときは一人で抱え込まないことです。「自分や相手の身体を傷つけない」「お付き合いする相手もきちんと見極めること」「自分の気持ちを素直に相手に伝えること」「どんな付き合い方をするのかきちんと話し合うこと」がとても大切です。

### 命を守るために...

- ✓ 性に関する正しい知識を持つ
  - ・妊娠について知る
  - ・性感染症について知る
  - ・性犯罪について知る
  - ・自分の身体について知る
- ✓ 考えて行動しよう
  - ・自分の気持ちを知ろう
  - ・相手の気持ちを知ろう
  - ・相手と話し合おう(お互いの思いを語りあい、伝えよう)



### 思春期電話相談

埼玉県看護協会

ティーンズ電話相談  
毎週土曜日

AM 10:00~12:00 PM 1:00~4:00

専用電話 048-548-8800



### ～ 生徒の感想の一部を紹介します ～

- ・男女のことや妊娠・出産について、以前より深く知ることができました。
- ・子どもが生まれることは当たり前ではない、と知ることができました。
- ・男女平等にするために、いやなことはイヤと言える関係にしたいと思いました。
- ・自分の行動に責任を持つこと、パートナーの同意を得ることが大切だと分かりました。
- ・自分が、今、安定した生活を送れているのは、親のおかげだということが分かりました。
- ・男女で欲求に差があることを考え、イヤなものはイヤと言えるような平等な関係を築けるようになりたいです。
- ・判断しなければならぬ時に、自分や相手の気持ちを踏まえて正しい判断ができるように生活していきたいです。